ABEMA Ads
入稿動画 技術ガイド

※ 本資料に掲載されている画像やテキストを無断で転載することを固く禁じます。
©AbemaTV, Inc.

株式会社AbemaTV
update : 2020.04.13

適合処置（必須）

① インターレース解除

② フレームレート最適化

③ ノンモン挿入

④ ラウドネス適合

⑤ 完全尺でのファイル出力

©AbemaTV, Inc.

詳細解説

① インターレース解除

「ABEMA」では、TV(地デジ)納品用のフォーマットは受け付けておりません。

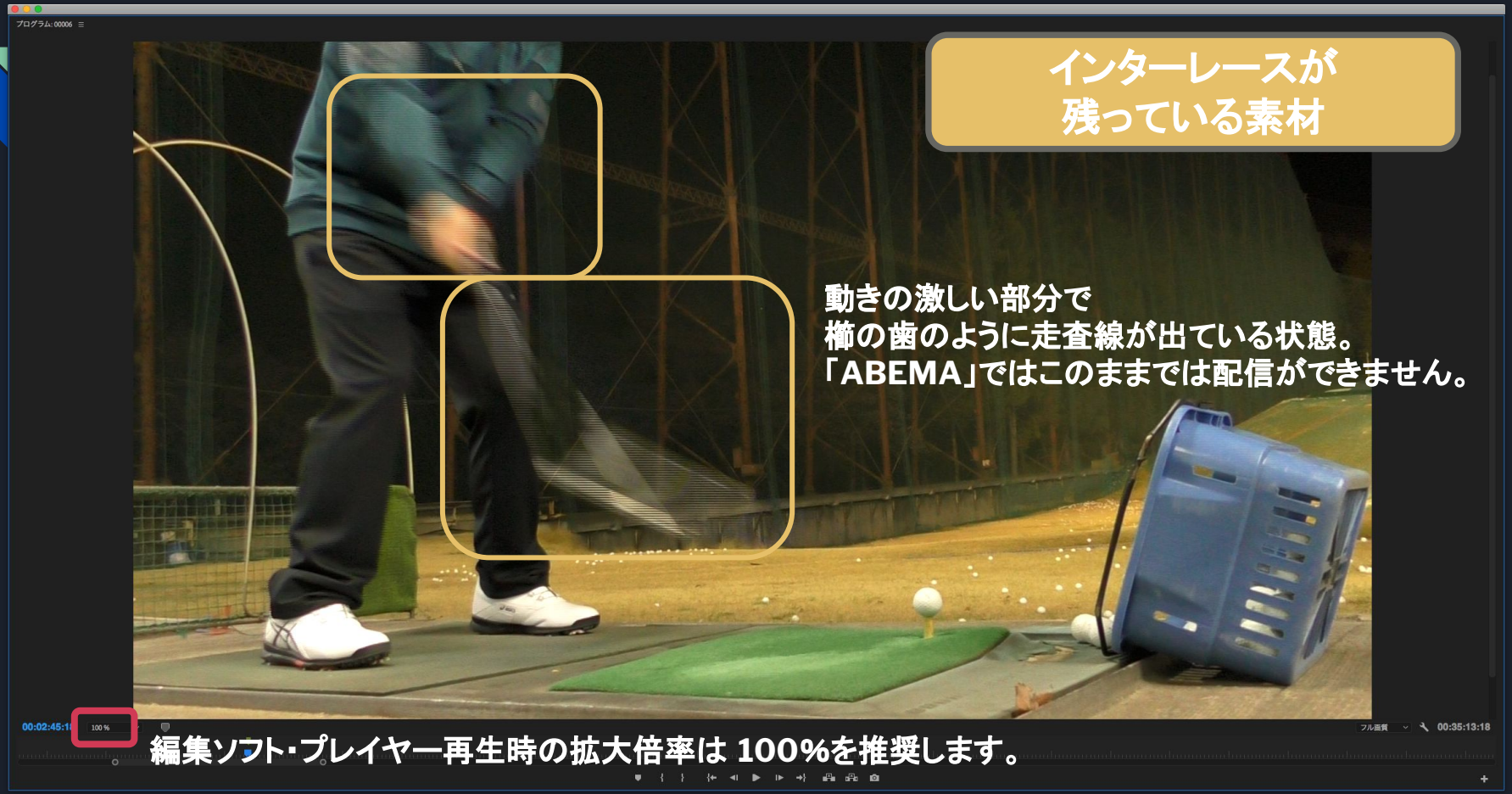
その最たる理由がインターレースの問題です。

お客様の視聴品質に大きく影響するため、事前の ”インターレース解除 ”が必須となります。

インターレース素材に対する対応方法をまとめましたので、
ご参照の上、入稿素材に対して事前に処置を施していただけますようお願いします。

次項より、「Premiere Pro」での確認・処置方法をご紹介します。

©AbemaTV, Inc.



インターレースが残っている素材

動きの激しい部分で
櫛の歯のように走査線が出ている状態。
「ABEMA」ではこのままでは配信ができません。

編集ソフト・プレイヤー再生時の拡大倍率は 100%を推奨します。

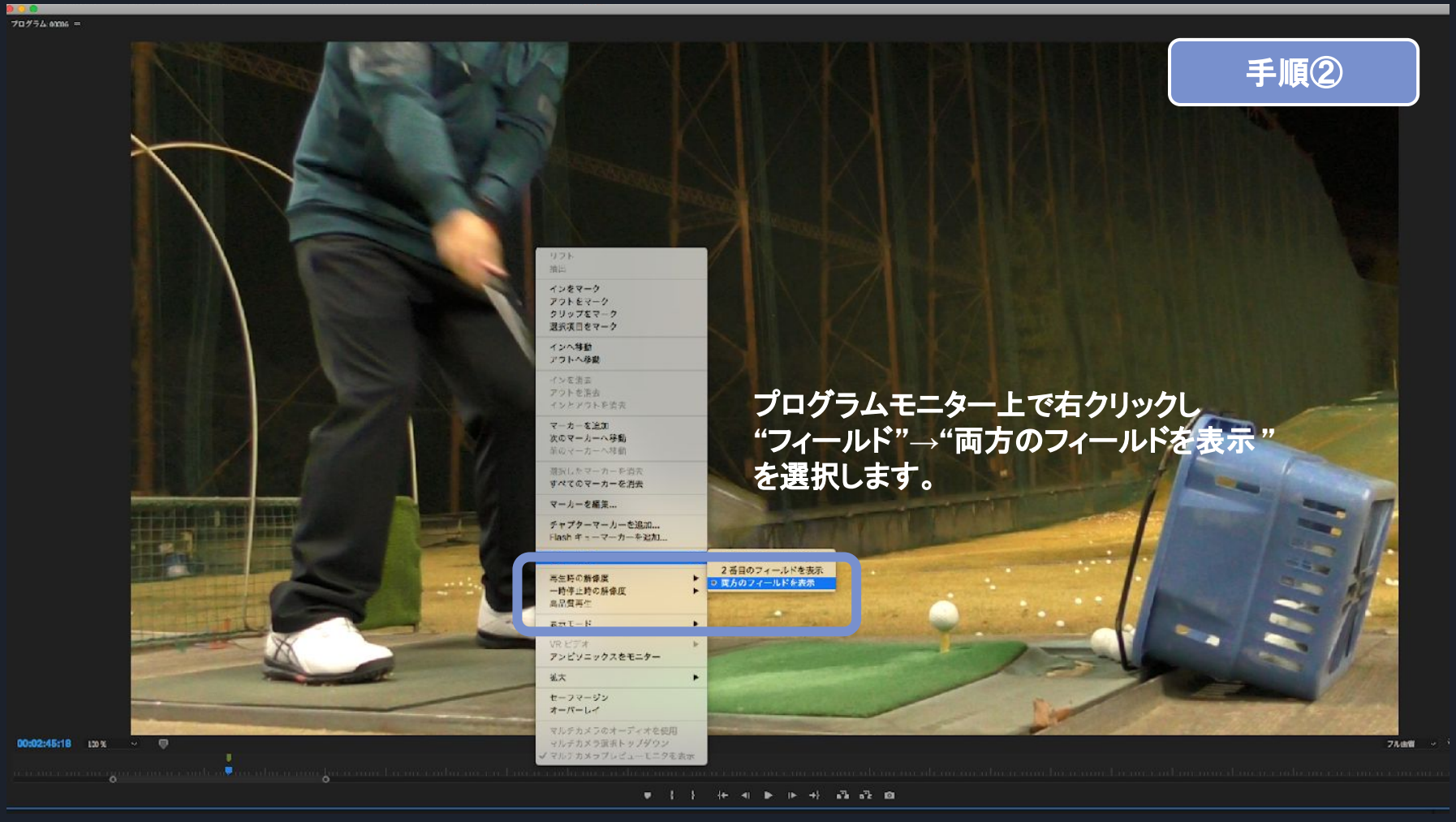
©AbemaTV, Inc.

インターレースが残っている素材

動いている部分では走査線の筋が目立ち、
静止している部分が目立たないので
注意が必要です。

©AbemaTV, Inc.

©AbemaTV, Inc.



手順②

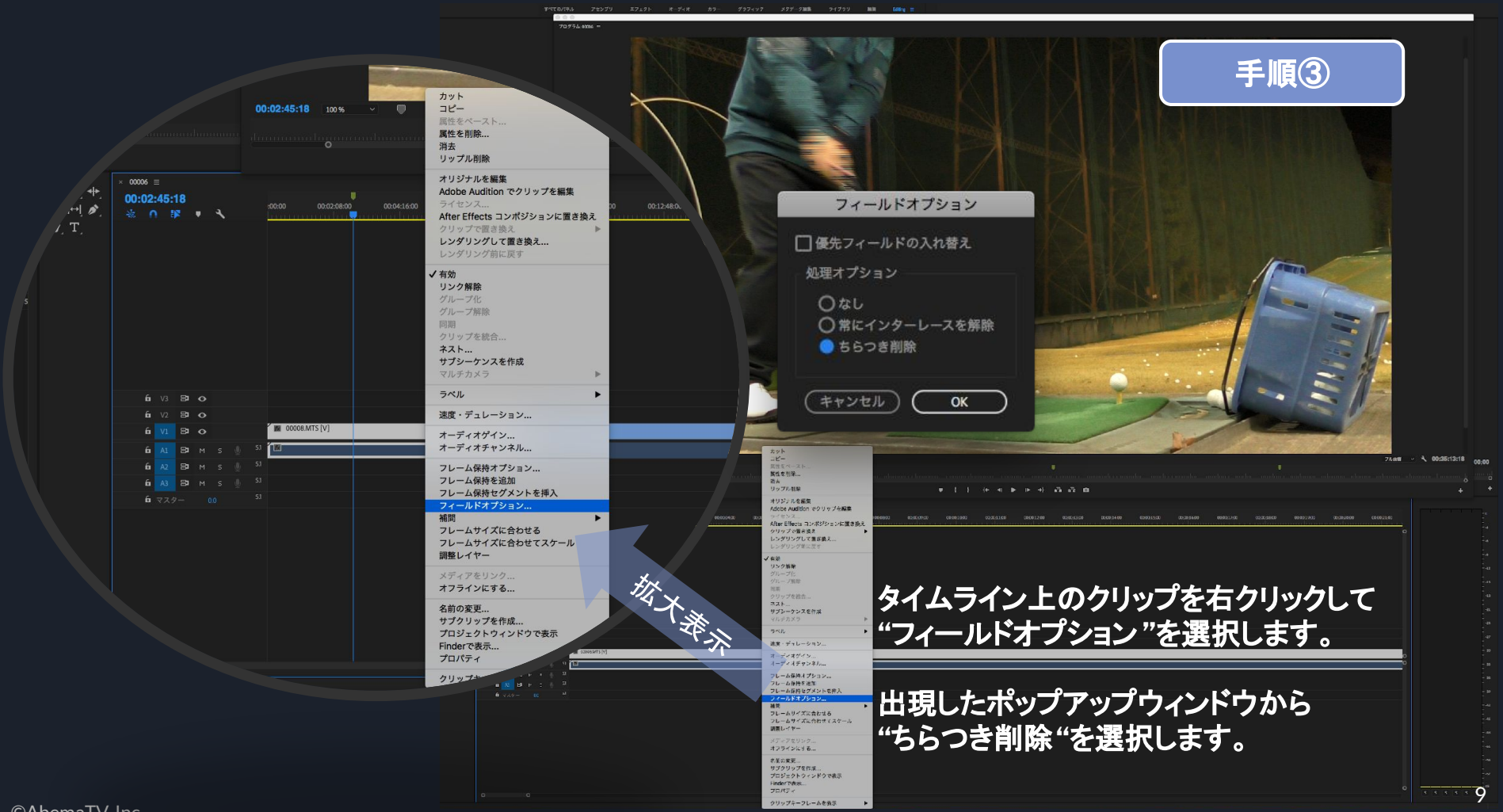
プログラムモニター上で右クリックし
“フィールド”→“両方のフィールドを表示 ”
を選択します。

©AbemaTV, Inc.

プログラム: 00006
インターレースが目視確認できるようになりました。
00:02:45:18
100 %
フル画質
00:35:13:18

©AbemaTV, Inc.

手順③



タイムライン上のクリップを右クリックして
“フィールドオプション”を選択します。

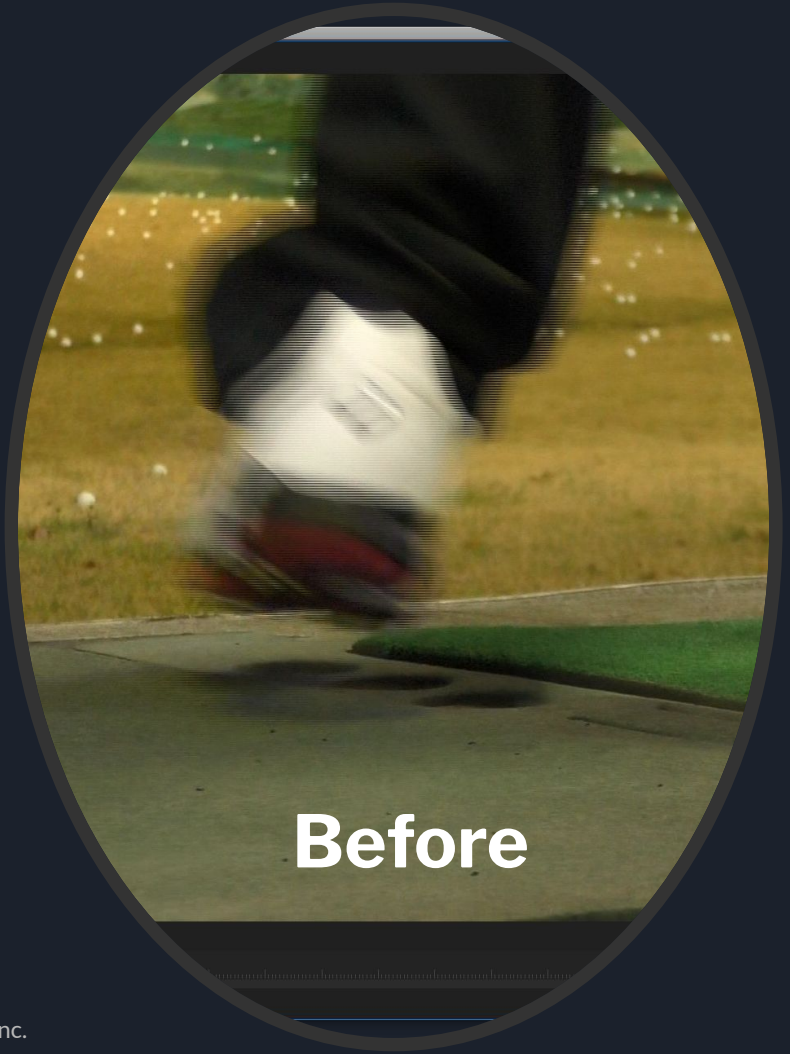
出現したポップアップウィンドウから
“ちらつき削除“を選択します。

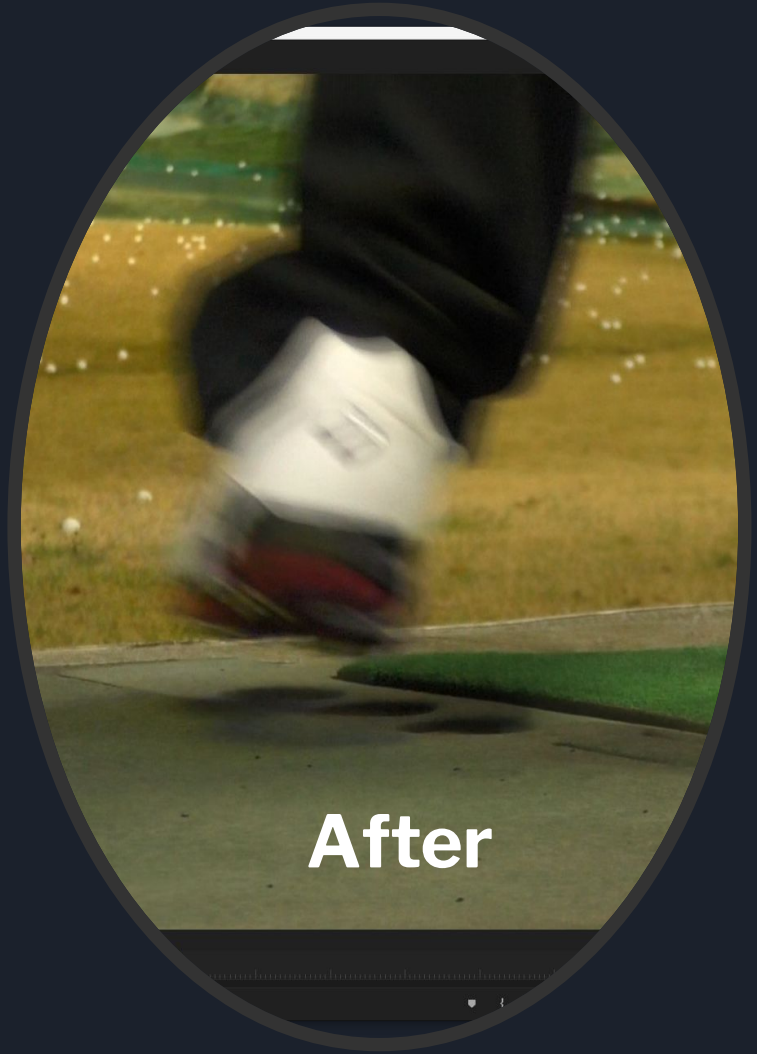
©AbemaTV, Inc.

プログラム: 00006
“ちらつき削除”適用により
上下のフィールドがブレンドされ
滑らかな輪郭になりました。
00:02:45:18
100 %
フル画質
00:35:13:18

©AbemaTV, Inc.

©AbemaTV, Inc.





©AbemaTV, Inc.

詳細解説

② フレームレートの最適化

「ABEMA」の広告動画における想定フレームレートは 29.97fps です。

ファイルの尺については、この 29.97fpsを基準に何秒に見えるかが重要です。

最近ではネット媒体への出稿が優先された結果、23.976fps(いわゆる24コマ)で
制作・出力される動画も増えてきています。
このFPSで入稿する場合、配信データとしての「 ABEMA」の許容値を超えて
尺が変化する場合があります。

配信事故予防のため、ファイル差し戻しとなる場合がございます。

編集ソフトなどで慎重にご確認ください。

©AbemaTV, Inc.

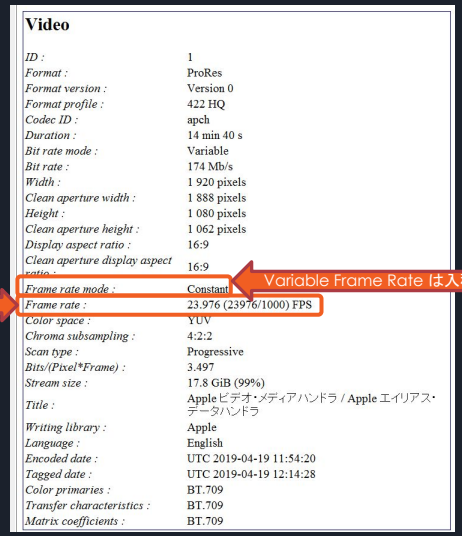
フレームレートの厳密化にご協力ください

完パケ書き出し後に以下のような分数表記であることをご確認ください。
※ここではサンプルとして「Media Info」での確認をご案内します。

- **OKパターン**
  - 29.97fps ＝ 30000/1001 かつ Constant Frame Rate

- **NGパターン**
  - 59.94fps ＝ 59940/1000 5994/100 など
  - 29.97fps ＝ 29970/1000 2997/100 など
  - 23.976fps ＝ 23976/1000 など
  - Variable Frame Rateのものは入稿不可

分母が1001以外はNGとなります



Video

ID :	1
Format :	ProRes
Format version :	Version 0
Format profile :	422 HQ
Codec ID :	apch
Duration :	14 min 40 s
Bit rate mode :	Variable
Bit rate :	174 Mb/s
Width :	1 920 pixels
Clean aperture width :	1 888 pixels
Height :	1 080 pixels
Clean aperture height :	1 062 pixels
Display aspect ratio :	16:9
Clean aperture display aspect ratio :	16:9
Frame rate mode :	Constant
Frame rate :	23.976 (23976/1000) FPS
Color space :	YUV
Chroma subsampling :	4:2:2
Scan type :	Progressive
*Bits/(Pixel*Frame) :*	3.497
Stream size :	17.8 GiB (99%)
Title :	Apple ビデオ・メディアハンドラ / Apple エイリアス・データハンドラ
Writing library :	Apple
Language :	English
Encoded date :	UTC 2019-04-19 11:54:20
Tagged date :	UTC 2019-04-19 12:14:28
Color primaries :	BT.709
Transfer characteristics :	BT.709
Matrix coefficients :	BT.709

Variable Frame Rate は入稿不可

※フリーソフトや廉価版ソフトを使用した動画の書き出しは非常に危険です。
NGパターンになる可能性が高いため禁止とさせていただきます。

©AbemaTV, Inc.

詳細解説

③ ノンモンの挿入

CM制作では必ず前後に15フレームの無音部（ノンモン）を設けます。
しかしながらインターネット動画の世界では、編集・変換のノウハウの不備により、
ノンモンの付与を忘れているケースが散見されます。

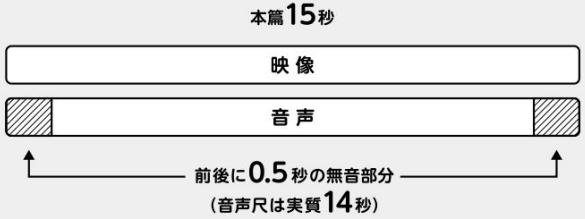
確実な音声の再生のために、ノンモンの付与にご協力ください。

次項に概念図を示します。

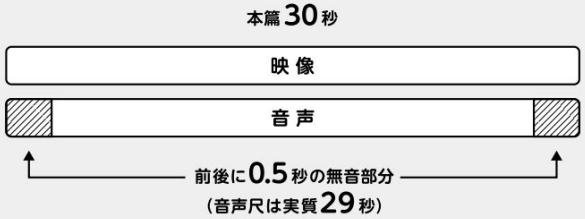
©AbemaTV, Inc.

ノンモンとは、本篇の冒頭と末尾に挿入する、0.5秒の無音部分です。ノンモンを確保できていない素材の入稿はできません。
入稿前に、映像編集もしくは音声編集アプリケーションにて、必ず音声波形を確認してください。

AbemaTV C.I. (サウンドロゴ)は、
ノンモン有りで制作していますので、
そのままお使い頂けます。



(例) 15秒の場合



(例) 30秒の場合

©AbemaTV, Inc.

詳細解説

④ ラウドネスの適合

TVオンエア基準とは異なるラウドネス規定になっております。
入稿時には「ABEMA」基準への事前適合をお願いしております。

- TVオンエア基準 -24LUFS±1LU

- ABEMA基準 -18LUFS±1LU ※モバイル視聴を優先考慮

©AbemaTV, Inc.

ラウドネス調整の基礎

編集ソフトからの書き出し時には、ITU-R.BT1770-3以降のアルゴリズムを適用し、
ターゲットを-18LUFSに設定してください。

基本的にはリニア振幅を前提とし、実際には
”ラウドネス差分を利用したノーマライズ処理 ”になるように制御してください。

フリーソフト等による安直な音量上げは品質低下のもとになるため、ご注意ください。

ProTools/Nuendo/AdobeAuditionなどの編集ソフトでの事前適合を推奨いたします。

「ABEMA」と協業関係にある制作組織の方には、自動変換・適合ツールの提供が可能です。
弊社担当営業までお問い合わせください。

©AbemaTV, Inc.

入稿規定の音声部分をフォーカス

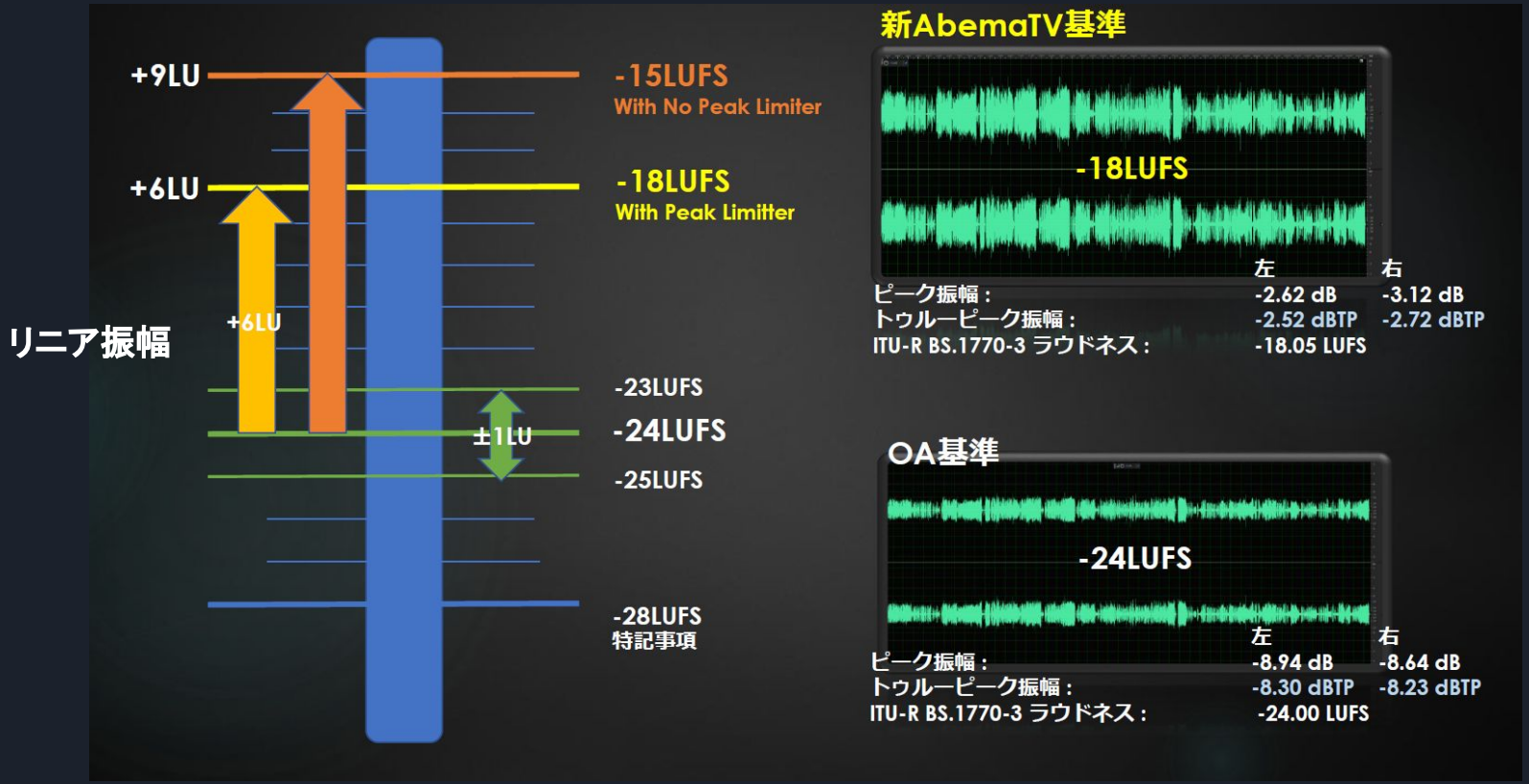
音声チャンネルタイプ	Stereo 2ch	※マルチチャンネル音声には対応しておりません。
音声コーデック	AAC-LC	
音声ビットレート	320kbps	
音声ビット深度・サンプリング周波数	16bit/48 kHz	
音声ピーク値	-3dBFS　以下	※この値をオーバーすると音割れにつながりますのでご注意ください。
音声平均ラウドネス値	-18.0LUFS±1LU	※AbemaTVでは独自のラウドネス基準を設けております。TV-OA基準より

極力、この範囲に収めるようにお願いします。

わずかな誤差は「ABEMA」側で対応可能なケースがありますので、お問い合わせください。

©AbemaTV, Inc.

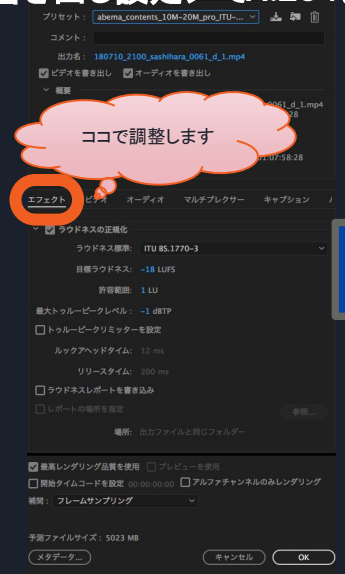
音声波形のイメージ



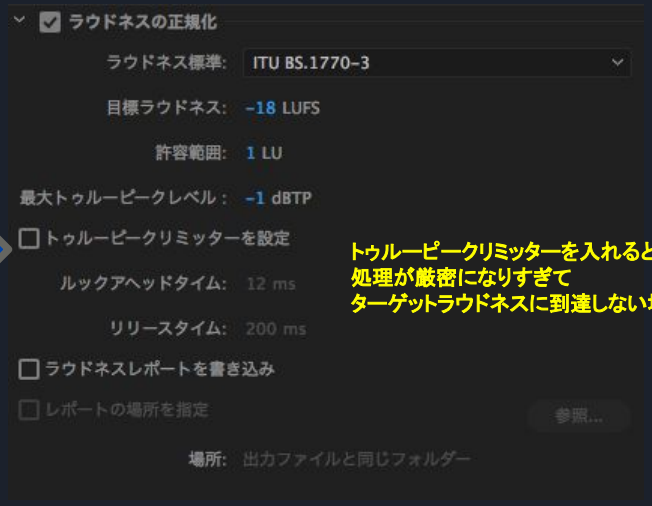
©AbemaTV, Inc.

「Premiere Pro」・「Media Encoder」による補正書き出し

- Premiere Proの編集シーケンスから書き出し画面に移動します。
- ＜書き出し設定＞でH.264を選び、下方の<エフェクト>タブに移動します。



拡大



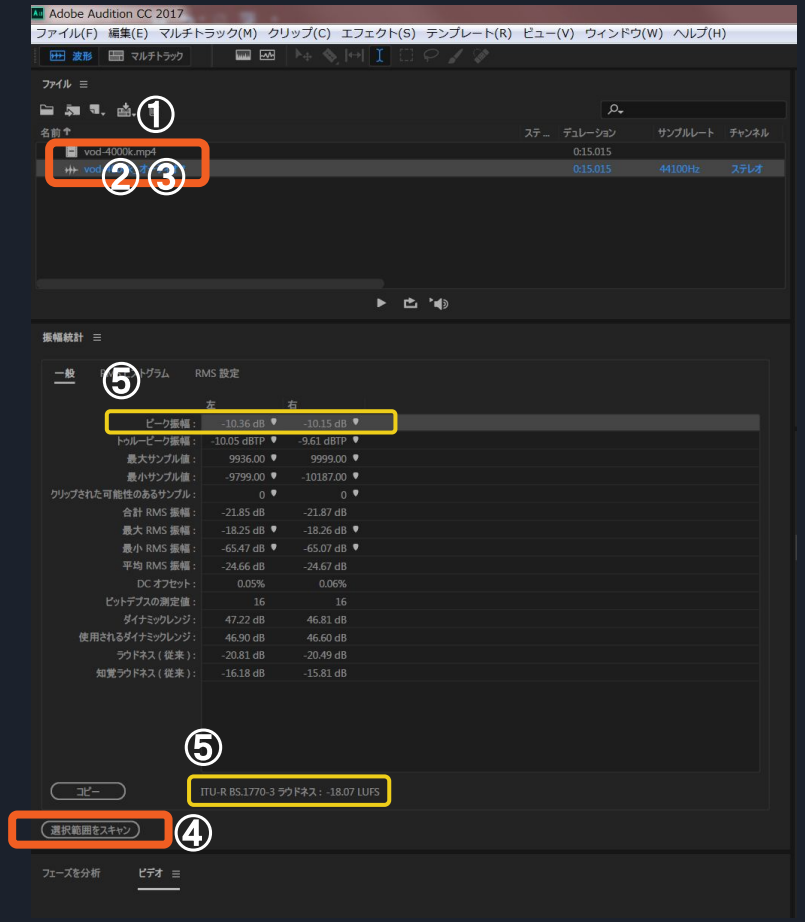
トゥルーピークリミッターを入れると
処理が厳密になりすぎて
ターゲットラウドネスに到達しない場合があります。

©AbemaTV, Inc.

結果確認

①「Adobe Audition」を起動
②MP4ファイルを投入（音声が抽出されます）
③音声をダブルクリックして
④＜選択範囲をスキャン＞を実行
⑤表示された統計情報から二箇所を確認
※念のため波形自体も目視確認してください。

ギリギリ規定内に収まらなかった場合は
お問い合わせください。



©AbemaTV, Inc.

配信を想定したより安全な音声波形イメージ

Sample Peakが-6dBFS以下になるようにもっていけば、
誤差の大きな周波数帯（1kHzあたり）でも音割れ懸念を払拭できます。

LPCM→AACなどの圧縮音声への変換誤差を加味すると
ピークは低めに抑える方が良いです。
配信時のダイナミックレンジ保護のためにも有効です。

©AbemaTV, Inc.

詳細解説

⑤ 完全尺での出力

ここでいう『完全尺』とは、
”配信に必要な部分のIN点・OUT点が確定し、余計な部分がない状態 ”
を指します。

ノンモン部分は完全尺に含まれなければなりません。

TV用の納品パッケージに求められる前後の静止部分 (のりしろ)は不要です。

余計な部分が残っている素材は、差し戻し対象となります。

©AbemaTV, Inc.